

3 新潟県の地域特性を踏まえた対策

(1) 予防等

ア 死亡・罹患が多い「肺がん」「胃がん」の予防としては、たばこ対策や栄養・食生活の改善を中心に取り組む。

イ 生涯を通じた女性の健康の保持増進及び QOL（生活の質）向上の観点から、「乳がん」「子宮がん」対策に取り組む。

ウ 肝がんの発症との密接な関連があることから肝炎対策を重点的に推進する。

エ 血液がん対策として骨髄提供者（ドナー）登録事業に取り組む。

(2) 地域に中核的医療機関がない医療圏については、隣接医療圏に設置された複数の拠点病院により対応する。

(3) がん登録データの分析による地域特性に応じたがん対策を実施するため、地域がん登録の届出率の向上及び地域間較差の解消を図る。

4 推進体制

県民、企業等、保健医療関係者、行政等の役割を明確にし、それぞれがその役割を果たすよう努め、相互に協力して取組を進める。

5 進行管理

計画の進捗状況を的確に把握するため、分野ごとに目標(指標)を設定する。

また、新潟県がん対策推進協議会(仮称)を開催し、毎年度実績の評価を行い、施策の改善等に反映させるとともに、必要に応じて、計画の見直しを検討する。

(計画の具体的内容は 2 , 3 ページの概要図を参照。)